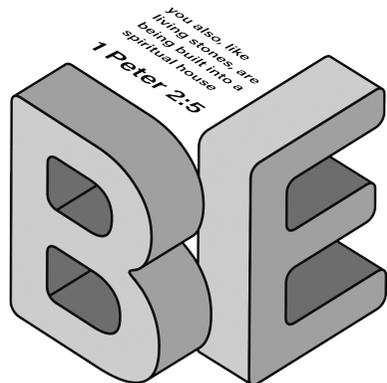


YOUTH MANNA



あなたがた自身も生ける石として霊の家に築き上げられ、神に喜ばれる霊のいけにえをイエス・キリストを通して献げる、聖なる祭司となります。
(ペテロの手紙第一 2章42節)

2025/8/25(月)

Ⅱ列王記 18:13-37

アッシリアの王センナケリブが攻めてきた。ヒゼキヤはアッシリアの王の要求を飲んで金銀を送ったが、さらに大軍で攻められてしまう。

- 自分では太刀打ちできないような困難に直面したとき、いつもどうしている？
- 神様に信頼することをしなくなったり、頼ることを忘れてしまうことはある？
- 『いったい、おまえは何に抛り頼んでいるのか』という敵のことばに対して、君はなんて答えるだろうか？

2025/8/26(火)

Ⅱ列王記 19:1-19

●ラブ・シャケのことばを聞いたヒゼキヤは主の宮に入り、家来たちを預言者イザヤのもとに遣わした。彼のことばから、どんな信仰を見れるだろう。

- アッシリアの王はイザヤが預言した通り、ある知らせを聞いてラキシユの本陣から移動していた。そのような中で、センナケリブは再び使者を通して降伏を迫る(9-13)。ヒゼキヤはその手紙をどうしたと書いている？
- ヒゼキヤが手紙をそのまま主の前に広げたように、今の困難や問題をそのまま主の前に広げて祈ろう。ヒゼキヤの祈りを読んで、神様がどのような方かを思い出そう！

2025/8/27(水)

Ⅱ列王記 19:20-37

●神様はヒゼキヤの祈りについて「わたしは聞いた」と語られた(20)。自分の祈りについても同じことを語られるとしたら、どんな気持ちになるかな？ヒゼキヤはどうだっただろう？

- センナケリブに語られたことばと、この戦いの結末を読んで、神様についてどんなことを思う？
- 君が立つのも座るのも、神様は知っておられる。そして神様が君に特別なご計画を持っておられるとしたら、君はどのように応えていきたいだろうか。一人で歩むのではなく、神様とともに歩むことについて考えてみよう。

2025/8/28(木)

Ⅱ列王記 20章

- ヒゼキヤは何年神様に寿命を伸ばしてもらったかな？ 6節
- 宮に上るしるしとしてどんなしるしだったかな？ 11節
- この箇所は、ヒゼキヤの信仰によって寿命が伸び、バビロンの王に宝物を見せて、バビロン捕囚の預言をうける箇所だよ。ヒゼキヤは神様が寿命を伸ばすほどの信仰をもっていたし、貯水池と水道も作ったよね。だけどヒゼキヤが宝物倉を見せてしまった事は、間接的にバビロン捕囚の原因になったんだ。君はイザヤの預言を聞いてどう思ったかな？ それを聞いて安心したヒゼキヤにはどう思ったかな？ 今日神様にゆだねて出て行こう！

2025/8/29(金)

Ⅱ列王記 21章

- マナセ王の話。彼の在位は55年と長かったね。彼は主の目に良い王だった？ それとも悪王？ 聖書はどんな点でそうだとっているかな？
3-4v→
6v→
16v→
- その結果、どんな預言が与えられただろうか？ 14-15v
- この預言はマナセから6代あとのゼデキヤ王の時に、バビロン捕囚という形で実現する。神様は裁きを与えたかと思うかい？ いやむしる良い関係を願っていたと思う。相手が人でも神様でも、良い関係を維持するにはきみが相手を知ろうとする努力が必要だ。きみが今できる努力は何かな？

2025/8/30(土)

Ⅱ列王記 22章

- ヨシヤは小さい時から王様になったにも関わらず、主の目にかなうことをおこない、右にも左にもそれなかった。そしてヨシヤが律法の書を聞いた時、彼は自分の衣を引き裂くほどに衝撃を受けた。衣を引き裂くということは、それだけ絶望感や悲しみなどがあったことの表れなんだ。そして、すぐに神様の心を彼は求めようとしたね。
そのことを通して、ユダの罪がなかったことにはならなかった。だけど、神様はヨシヤ王のへりくだる姿を見てわざわざ先送りにされ、国の信仰が回復する期間が与えられたんだ。
ヨシヤはなぜ律法を聞いて衣をさくほどになったんだろう？ 彼の信仰から何を学ぶことができるかな？ 考えてみよう！

2025/8/31(日)

Ⅱ列王記 23:1-24

- 律法の書を読んだヨシヤは、その後のどのような行動をしたらろう。まず、国の人々に対して何をしたらかな？ (1-3)
- ヨシヤがどのように偶像や罪深い習慣、行いを取り除いていったかを注意深く読んでみよう。神様に従う覚悟や、実際にそのことばを生きることにして考えてみよう。
- 良いことを知ることと、実際にそれを行うことには違いがあるよね。私たちは知っていてもその通りできないことがあるけれど、私たちの内に働いて助けてくださる聖霊に抛り頼んで今日も歩もう！